



私の人生

海辺 久美子

この度、中国労災病院にて、胃がん治療の為お世話になる事になりました。

私は57年間生きてきて、今が一番幸せです。なぜかと言うと、私の父は飲酒が好きで母を困らせ、母がノイローゼになり、色々と苦勞をしてきました。その結果、父は49歳で脳出血で亡くなり、母は65歳で心不全で亡くなりました。

私は23歳で海辺家に嫁ぎ、またまた大波乱の人生が始まりました。嫁いだ先が大家族で、義祖父母、義父母、主人、私とで慣れない事が多くて波瀾万丈でした。義父は、まだ86歳で健在です。義母は3年前、中国労災病院で直腸がんを患い、全摘してストーマをつけていました。私は半年間、ストーマのお世話をしてきました。義母は私に、申し訳ない、ごめんねと何度も言っていました。私は今まで色々お世話になっているから、これくらい大丈夫よ、といつも笑顔で答えていました。

でも義父は嫁がするのは当然のような態度で、一度もありがとうという言葉はありませんでした。義母が亡くなり3年経ち、私は23年間パートで近くの会社に勤めていましたが、義父のわがままで、くたくたに体が疲れていました。義父は何もした事がないので、朝昼夕の食事は決まった時間に食べさせないと、すぐに怒っていました。私は義父の嫁ではないのに、主人と義父の2人の嫁になったようでした。

でも主人は義父と違って、私の味方になってくれたので何よりもうれしい

です。主人も私が今まで嫁の勤めをしてきた事を、ありがたく思ってくれているようで、ほぼ毎日、病院に様子を見に来てくれます。そして私のまわりには、たくさんの友人、会社の人が応援してくれています。

中国労災病院の主治医の先生、看護師さんには私の治療にあたり、やさしく接して下さい、感謝・感謝の気持ちでいっぱいです。私はこれから胃がんに勝ち抜き、第二の人生はゆっくりと主人や孫達と楽しみたいと思います。まだ現在、治療中ですが気力でがんばります。

これからもよろしくお願いします。

